平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	協働の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市民活動団体が市民公益活動に取り組む環境を整えるため、「市民活動総合保険制度」を導入する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動応援補助金」の活用促進を図る。
②①に基づく取組み結果	「市民活動総合保険制度」の運用を、7月から始めた。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・自治会、市民公益活動団体、企業、市など多様な主体	意図（対象をどうするのか）	地域社会に共通する課題の解決や目標の実現に向けて協働の推進を図る。
②事務事業の概要	協働の推進を図るため、「鎌ケ谷市 市民との協働戦略プラン（改訂版）」に基づき、各施策を展開する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化しており、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29度の事業の成果：市民活動支援補助金対象事業：2事業実施。「市民活動総合保険制度」を、7月から運用。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	市民提案協働モデル事業完了報告件数	0	1	0	件	業務取得
	ii	市民活動支援補助金実績報告件数	2	3	2	件	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	625	836			2,283
国支出金（千円）			172	市民活動支援補助金	
県支出金（千円）			129	協働推進委員会委員報償	
市債その他（千円）			514	市民活動総合保険	
一般財源（千円）	625	836			2,283

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市民と市の協働により地域の課題を解決するため、さらなる市民団体との役割分担による事業の実施や、市民団体の活動支援を行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	少子高齢化や地方分権の進展などに伴い多様化する地域課題の解決のため、協働の重要性が高まっている。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H27からの繰越	
				H26⇒27繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成29年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市民活動推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市民活動を推進するための講座等の充実やPRを行う。また、認定制度を通してコーディネーターの効果的な養成を図る。
②①に基づく取組み結果	地域づくりコーディネーター養成講座の運営を民間委託し、より体系化し、延べ321人が受講した。 認定コーディネーターとして、3人を認定した。
③平成30年度に取組む改革・改善内容	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動の支援を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動団体及び市民	意図（対象をどうするのか）	市民公益活動を行う市民を支援するとともに、市民のまちづくり意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベントの実施、情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化し、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっていることから、 協働の担い手となる市民公益活動団体の強化や、市民活動を活発化させるための仕組みづくりが必要となる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	市民活動フェスタなどをとおして市民活動推進センターの周知を行うとともに、プロジェクトマネージャーを市民活動団体へ積極的に紹介をした。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	市民活動推進センター来所者数	4,847	5,010	5,977	人	業務取得
ii	市民公益活動相談件数	19	100	126	件	業務取得
iii	市民活動推進センターウェブページアクセス数	14,314	8,919	9,536	件	業務取得

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	3,894	3,723			3,695
国支出金（千円）			1,546	プロジェクトマネージャー報酬	
県支出金（千円）			1,234	講座委託料	
市債その他（千円）			666	機器使用料	
一般財源（千円）	3,894	3,723			3,695

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市民活動推進センターのさらなる利用促進を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民活動を推進するための講座等の充実を図るとともに、市民活動推進センターの存在や活用方法について、団体や市民にさらなる周知が必要であるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
	0	当初		0	H28からの繰越	
		H26⇒27繰越			現年分	
		補正				
		流用・充当				
平成29年度への繰越額（単位；千円）						

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	鈴木　由美			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	男女共同参画推進計画の適正な実施に取り組むよう働きかける。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	男女共同参画社会を推進するため、表現ガイドの修正を行う。
②①に基づく取組み結果	推進計画の適正な実施に取り組むよう関係各課に積極的な働きかけを行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図（対象をどうするのか）	職場や家庭、地域等様々な場での女性参画の推進を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施し、その進行管理を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	全国的に人口減少が進展する中で、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会の形成のため、全庁的に取り組む事業と考えられる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：男女共同参画推進計画の各事業について、関係各課と共同で取り組んだ。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	審議会等女性委員割合	27.5	28.3	28.3	%	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	160	2,604			2,771
国支出金（千円）			2,438	臨時職員賃金	
県支出金（千円）			150	懇話会委員報償	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	160	2,604			2,771

Ⅳ　評価・検討

①課題	男女共同参画推進計画に基づき各事業を実施しているが、今後も男女共同参画意識の醸成を図る必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	男女共同参画推進計画の進行管理において、各事業の実績を踏まえた課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	鈴木　由美			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業の実施にあたっては、民間スキルを活用し、市民ニーズに合わせた事業を実施する。
②①に基づく取組み結果	民間スキルを活用するとともに、講座後のアンケートを活用して市民の要望を踏まえた事業を実施した。
③平成30年度に取組む改革・改善内容	事業の実施にあたっては、民間スキルを活用し、市民ニーズに合わせた事業を実施する。また、女性のための相談、DV相談に適切に対応するため、庁内の連携を図る。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図（対象をどうするのか）	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民ニーズが多様化していることから、事業の企画立案にあたっては、ニーズに対応し、ターゲットを絞った事業の実施が必要である。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施し、多くの参加者を得られ、男女共同参画意識の醸成を図った。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	男女共同参画週間事業	476	353	237	人	業務取得
ii	情報誌の発行	4	4	4	回	業務取得
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	7,475	8,854			8,313
国支出金（千円）			1,336	プロジェクトマネージャー報酬	
県支出金（千円）			4,129	非常勤職員賃金	
市債その他（千円）			1,962	委託料	
一般財源（千円）	7,475	8,854			8,313

Ⅳ　評価・検討

①課題	男女共同参画を推進するため、講座や啓発事業の充実を図るとともに、ウェブページ及び広報誌等を活用し積極的なPRに努める必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	2普通	ⅳ効率性	2普通		
③上記評価の理由	各事業の参加状況やアンケート結果をふまえて課題を精査し、次年度以降の事業に活かしていく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
	0	当初		0	H28からの繰越	
		H28⇒29繰越			現年分	
		補正				
		流用・充当				
平成30年度への繰越額（単位；千円）						

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	各種相談に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	12	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	今年度については需要が認められなかったため拡充については見送った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図（対象をどうするのか）	各種相談を通じて、安心した市民生活や市民福祉の向上を図る。
②事務事業の概要	市民が社会生活を営む中で発生する、人間関係や金銭トラブルなどの様々な諸問題の解決のため、各種相談を実施するもの。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	少子高齢化社会、高度情報化社会などの急速な生活環境の変化によって、相談内容も多岐多様となってきている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：相談件数411件と昨年と比較して減少したが、市民福祉向上に寄与した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	相談件数	458	448	411	件	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	1,688	1,689			1,691
国支出金（千円）	0	0	1,685	弁護士報償	0
県支出金（千円）	0	0			0
市債その他（千円）	0	0			0
一般財源（千円）	1,688	1,689			1,691

Ⅳ　評価・検討

①課題	市民生活にかかる各種トラブルを解決していくために、今後も引き続き市民相談を提供する必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種相談に対する市民ニーズが高いため、より効率的な体制を整える必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	人権施策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	鈴木　由美			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	人権啓発イベント時のPRなどにより、人権擁護相談の周知を積極的に行い、相談しやすい体制整備につとめる。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	市川法務局管内で3年に1度担当する人権啓発イベント「ハートフルヒューマンフェスタ」を人権擁護委員と協働で実施し、人権尊重の意識高揚を図る。
②①に基づく取組み結果	人権週間啓発事業などの人権啓発イベント時に、人権擁護委員の活動状況について、パネル展示や啓発物資の配付を行うなどして、人権擁護委員の相談業務を周知した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図（対象をどうするのか）	人権相談や啓発を通じて人権尊重を図る。
②事務事業の概要	基本的人権を擁護するため、人権擁護委員と連携して相談業務及び啓発活動を実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	高齢化社会が進み、認知症を患っていたり介護が必要な高齢者に対する虐待などが問題となっている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	人権教室を小学校で、人権講演会を中学校で実施するとともに人権相談及び啓発活動により人権尊重思想の高揚を図った。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	ヒューマンフェスタ	313	355	137	人	業務取得
	ii	人権講演会	551	714	716	人	業務取得
	iii	人権啓発教室	1,301	1319	1,167	人	業務取得

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	698	677	金額（千円）	内容	820
国支出金（千円）			170	需用費	
県支出金（千円）	273	223	346	負担金	371
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	425	454			449

Ⅳ　評価・検討

①課題	高齢化社会が進み、認知症を患っていたり介護が必要な高齢者に対する虐待などが問題となっている。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	相談の利用状況、事業のアンケート結果をふまえ、課題を精査し、次年度以降の事業に活かしていく必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H28からの繰越
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者の意見を聞き、市民サービスを向上していく。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者の意見を聞き、市民サービスを向上していく。
②①に基づく取組み結果	モニタリングを実施し、指定管理者に対し、施設を適正に管理するための指導を実施した		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図（対象をどうするのか）	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成の場となるよう適正な管理運営を行う。
②事務事業の概要	コミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行うもの。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	モニタリングを実施し、指定管理者に対し、施設を適正に管理するための指導を実施した

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	1施設当たりの利用者数	18,878	17,152	17,387	人	業務取得
	ii	1施設当たりの管理運営費	8,903	6,908	7,209	千円	業務取得
	iii	一人当たりの管理運営費	472	403	415	円	業務取得

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	43,084	45,777	金額（千円）	内容	37,536
国支出金（千円）	0	0	15,030	指定管理料	0
県支出金（千円）	0	0	9,611	委託料	0
市債その他（千円）	0	0			0
一般財源（千円）	43,084	44,978			37,536

Ⅳ　評価・検討

①課題	指定管理者制度が導入されている3館については、モニタリング等で指定管理者に対して適正な管理を行い、継続的に市民サービスの向上を図っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流の拠点となっており、高齢化が進むなか、地域住民にとっての価値が高まっているため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H28からの繰越
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	道野辺中央コミュニティセンター外壁・屋上防水改修工事を行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	道野辺中央コミュニティセンター空調設備改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	道野辺中央コミュニティセンター外壁・屋上防水改修工事の他、道野辺中央コミュニティセンター空調設備改修工事設計委託を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図（対象をどうするのか）	計画的に改修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、経年劣化した施設の外壁、屋上防水、空調設備の改修を行うもの。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	道野辺中央コミュニティセンター外壁・屋上防水改修工事の他、道野辺中央コミュニティセンター空調設備改修工事設計委託を行った。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	利用者数	113,267	102,911	104,319	人	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		18,793	17,064	金額（千円）	内容	18,974
	国支出金（千円）	0	0	15,606	道野辺中央外壁	0
	県支出金（千円）	0	0	464	道野辺中央空調設計	0
	市債その他（千円）	8,100	11,700			14,200
	一般財源（千円）	10,693	5,364			4,774

Ⅳ　評価・検討

①課題	各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生する前に予防的な改修を行うことにより、経費の抑制を図ることが課題となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	道中外壁工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	道中外壁工事、道中空調設計	18,783	17,625	当初	18,783	17,064	H28からの繰越　0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越	0		現年分　17,064
④未完了・非着手の理由				補正	0		
				流用・充当	−1,158		
		平成30年度への繰越額（単位；千円）			0		

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	西山　珠樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	なし	③平成30年度に取組む改革・改善内容	新築を予定していた自治会が事業を実施出来なくなったため、次年度以降に事業を計画している自治会への助言及び支援を行う。
②①に基づく取組み結果	なし		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の新築等を予定している自治会	意図（対象をどうするのか）	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自治会加入率が増加する。
②事務事業の概要	地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	東武鎌ケ谷自治会集会所、北初富第一自治会館、鎌ケ谷橋自治会館へ補助金を交付した。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	建築基準法改正（昭和56年）以降に建築された集会所を有する自治会数	20	20	21	自治会	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		0	26,194	金額（千円）	内容	0
	国支出金（千円）			23,000	新築補助	
	県支出金（千円）			1,194	解体補助	
	市債その他（千円）			2,000	修繕	
	一般財源（千円）	0	26,194			0

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	集会所を所有していない自治会や、集会所の老朽化が激しい自治会が複数あるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	東武鎌ケ谷自治会集会所、北初富第一自治会館、鎌ケ谷橋自治会館へ補助金を交付する。
②計画に対する事業実績	東武鎌ケ谷自治会集会所、北初富第一自治会館、鎌ケ谷橋自治会館へ補助金を交付した。
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
26,500	26,500	当初	26,500	26,194	H28からの繰越	0
		H28⇒29繰越	0		現年分	26,194
		補正	0			
		流用・充当	0			
平成30年度への繰越額（単位；千円）			0			